

報 告

近畿病院図書室協議会第131回研修会

研修部

日 時：2013年9月28日（土）10:00～17:00
場 所：大阪ハイテクノロジー専門学校 2階
PCルーム

テーマ：やってみよう！診療ガイドライン検索
プログラム：

1. プロダクト・レビュー（敬称略）
サンメディア、シュプリンガー、
エルゼビア、医中誌刊行会、EBSCO、
医学書院、Ovid、USACO
2. 診療ガイドライン作成支援に必要な知識・ス
キル・学び方
Independent Librarian 小嶋 智美 氏
3. JMLA 診療ガイドライン検索事例
奈良県立医科大学附属図書館
大瀬戸 貴己 氏
4. 実習：やってみよう！診療ガイドライン検索
小嶋智美 氏、大瀬戸貴己 氏、山崎むつみ 氏
5. 診療ガイドライン検索と病院図書室担当者
静岡県立静岡がんセンター医学図書館
山崎 むつみ 氏

参加者数：42名

（会員25名、賛助会員6名、会員外
4名、講師・企業7名）

1. プロダクト・レビュー

8つの医学関係雑誌やデータベース取り扱い
企業から各10分ずつ、商品や価格改定、最新動
向をプレゼンテーションいただいた。各企業と
も、病院図書館向けの製品やデータベースの利
用方法などを短時間にわかりやすくまとめて発
表いただいた。2014年は消費税の増税や円安の

影響が懸念される中、参加者も真剣にメモを
とっていた。

2. 診療ガイドライン作成支援に必要な知識・ス キル・学び方

日本医学図書館協会（JMLA）診療ガイドラ
インワーキンググループに所属し、数々の診療
ガイドライン作成に協力されている小嶋智美氏
から講義いただいた。まず、診療ガイドライン
の定義から、EBMなどの基礎知識、ライブラ
リアンが担っている役割を説明された。

最近作成された診療ガイドラインを具体例に、
どのような過程で作成されるかが理解できた。
さらに、作成支援のための条件やどのような学
習が必要かを紹介いただき、持ち帰って自己学
習に生かせる内容であった。

3. JMLA 診療ガイドライン検索事例

奈良県立医科大学附属図書館の大瀬戸貴己氏
も、数々の診療ガイドライン検索に協力されて
いる。実際に「前立腺癌診療ガイドライン」の
作成を例に具体的な手順を追って、検索のポ
イントや検索の際に使用したデータベースなど
を解説された。大瀬戸氏からは研修会開催前に
検索キーワードについての事前課題が出されて
おり、参加者もそれぞれに検索や事前学習をす
ることができたので、より深く理解できた。検
索において、各キーワードについて理解するこ
との重要性を実感した。

4. 実習：やってみよう！診療ガイドライン検索

5～6人ずつのグループにわかれて、診療ガイドラインで実際に使用されるクリニカルクエスチョン（CQ）の検索キーワードを検討し、日本語文献を医中誌 Web にて検索し、最適な論文を見極め、発表を行った。この実習には事前課題が出されており、事前に検索をして参加したが、他のグループメンバーや、前述の講義からの学びで、さらに理解や自信のもてる検索を行うことができた。つづいて、PubMed を使った海外文献も同様に検索した。これは講師3名の検索を最後に紹介され、3人3様の検索スタイルに感心した。検索には正解が無いけれど、確かな知識と検索技術を身につけ、自信を持って担当グループに結果報告することの大切さ、そのために検索スキルを高めることの重要性を実感した。

5. 診療ガイドライン検索と病院図書室担当者

静岡県立静岡がんセンター医学図書館の山崎むつみ氏より、実際に病院図書館図書員でガイドライン検索に携わられている立場から、病院図書館担当者が診療ガイドライン検索を行うことの意味をお話いただいた。診療ガイドライン検索は、「医学・医療の知識、主題分析・認識、確実な情報の判断、素早い報告、Tool の使いこなし」といった病院図書館担当者に必要なスキルを習得するのに最適であり「至急、確実、報告、信頼」という、医療現場で必要とされる

検索業務に直結する。同じ病院図書館担当者からの体験例で、ガイドライン検索の重要性がより理解できた。

6. おわりに

近年はインターネット、データベースの普及により利用者自身で検索することが定着し、誰でもどこでも検索が可能になった。代行検索の機会は減っているが、そんななか図書館に検索依頼や相談に訪れる利用者は、より確実な検索結果を求めている。その要求にこたえ、検索技術を磨く手段として、診療ガイドライン検索は文献検索講習の機会も定期的であり、テキストを読むだけでなく実践しアウトプットする機会があり最適である。

今回の参加者からも、講義を聞くだけでなく、演習によってより理解が深まったとの感想をいただいた。

今回の各講義でも紹介されたが、日本で初めに病院図書館担当者が診療ガイドライン作成に協力したのは、近畿病院図書室協議会であった。当時は診療ガイドライン検索のための文献検索講習会も開催が少なかったが、現在は JMLA にて上・中・初級と行われており、毎年学習の機会がある。また、研修部でも継続的に検索講習を学べるように企画したい。

（文責：藤原純子／洛和会音羽病院）